

敬愛

貢献意識のある学びと発信を

第49号 2023. 8月

雄飛

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中村 友紀 編集責任者：担当副会長 住 真介 制作・編集：第49期総務委員会



鳥取県西部中小企業青年中央会
第49期会長 中村 友紀

【所属企業・役職】 株式会社サンイントウエイ
代表取締役社長

【入会年度】 H20年2月 (H19年度)

【中央会経歴】

H21年度 副委員長
H30年度 委員長
R01年度 副会長
R02年度 副会長
R03年度 監事
R04年度 監事



ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 第49期会長を務めさせていただきます中村 友紀と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度通常総会懇親会では、ご多忙の折、ご来賓の皆様をはじめ多数のOB会員の皆様にご臨席を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルスが第5類感染症移行となり感染症対策などの制限がなくご臨席賜りました皆様には楽しい時間を過ごせてもらえたことを会員一同、本当に嬉しく思っております。

近年は新型コロナウイルスのみならず物価高騰などをはじめとする多くの環境変化が頻繁に起こり、価値観や行動模様の変化が起こり、時代やトレンドが急激に変化をすることを体感します。我々、経済団体においても多くの変化が求められていると感じることが多くなってきた中で49期を迎えることになりました。また、当会が創立されてから50年という節目を迎

え伝統と歴史を振り返りながら新たな変遷を辿る架け橋になる年度になると考えます。この変化と伝統の2つを踏まえてスローガンを「敬愛」と致しました。これまでの歴史に親しみと敬いの気持ちを持ち、多種多様になる時代の価値観を捉え時代に即した形でこの地域を支えられる経済団体でありたいと気持ちを込めました。そして活動テーマを「貢献意識のある学びと発信を」とさせていただきました。当会で学んだ知識や知恵を貢献意識をもって発信することで学びの場を広げ新たな仲間を集い共にこの地域の発展に寄与していきたいと思っております。

結びとなりますが、日頃よりご理解とご協力をいただいております関係各位の皆様、50年という尊い歴史を紡いできましたOB会員の皆様、当会を支えていただいております地域の皆様に感謝と敬愛の気持ちをもって1年間事業を行ってまいります。どうぞ引き続きのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



50周年企画
委員会



総務
委員会



政治・
ビジネス
委員会



中央会
発信
委員会



敬愛
委員会

委員長・副会長ごあいさつ



50周年企画委員会

委員長 安藤 睦男

山陰フェンス工業有限会社 代表取締役社長

第49期50周年企画委員会の委員長を拝命いたしました安藤 睦男です。50周年企画委員会では50周年事業の企画、中央会歴史の調査・研究・会員への共有という活動指針を頂きました。当委員会では委員会テーマを「挑夢(いどむ)」としました。会を支えてくださっている全ての皆さまに感謝し、新しい未来に向かって更なる中央会の発展と地域の成長に挑む一年間にしたいと思います。50周年事業では関係者の皆様と共に盛大に盛り上げていきたいと思っておりますのでお力添えの程何卒よろしくお願い申し上げます。

1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



50周年企画委員会

副会長 恵比木 健

株式会社松本油店 課長

第49期副会長を拝命しました恵比木 健でございます。1年間よろしくお願いいたします。50周年企画委員会を担当させていただきます。半世紀にわたり、先輩方が築き上げてこられた伝統・歴史・精神を大切にしながら、今を見つめて、未来について考える、つまりは中央会のアイデンティティを会員皆で再認識する時間を、この1年間を通して委員会メンバーと協力しながら作り出したいと思います。その旗振り役である安藤委員長をサポートし、活動を通して「敬愛」を表現することが私の仕事だと考えます。自分らしく、とにかく楽しみながら進めていきたいと思っております。皆さまにはお願いごとばかりになると思っておりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



総務委員会

委員長 大江 史紀

株式会社島津組 LIXIL不動産ショッブ 島津組 部長

この度、第49期総務委員会の委員長を拝命いたしました大江 史紀と申します。このような身に余るほどの大役を仰せつかり高揚感と緊張感の入り混じった心境で第49期のスタートラインを切りました。これから1年間、中村 会長が掲げられたスローガン「敬愛」の浸透を図っていく柱の一人として、私に与えられた責務を全うして参ります。私は会歴も経験も浅く、まだまだ未熟な身ではございますが、当会と所属企業様とが共に繁栄し、更には会の活動を通じて地域社会の発展と活性化に貢献できるよう、会の皆様の先頭に立って参りたいと意気込んでおります。今後共、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



総務委員会

副会長 住 真介

住法律事務所 代表弁護士

第49期副会長を拝命致しました住です。この度総務委員会を担当させていただくことになりました。これまで私は総務副委員長及び委員長をさせていただきましたので、その経験を副会長としての立場で活かして参りたいと思っております。本年度総務委員会は、これまでの総務委員会の役割に加え、ハンサム・雄飛も担当し、当会の基幹、屋台骨としての役割、責任が一層増しています。さらに、今期は50周年に向けた大きな動きとなる年となります。大きな流れや波にのまれず、当会活動の柱として総務委員会が活動していけるよう、しっかり副会長として支えさせていただく所存です。一年何卒よろしくお願い申し上げます。



政治・ビジネス委員会

委員長 小坂 泰彦

有限会社はなや 取締役

第49期政治・ビジネス委員会の委員長を務めます小坂 泰彦です。当委員会は、スローガンを「NEW×CREATION」として1年間活動していきます。委員会の名前の通り、「政治」と「ビジネス」という歴史受け継がれてきた中央会の2大テーマを追求する委員会です。技術の進化や人々の価値観の変化、世界情勢などにより、私たちが根ざす地域やビジネスをめぐる環境は刻々と変化を続けています。その中で今、私達地域の青年経済人に求められているものは何か、私達はどのような存在であるべきなのかということ「政治」そして「ビジネス」という側面から迫ってまいります。

中央会の本質ともいえる自己研鑽を委員会の魂として、新しい自分、新しい中央会を目指して、どんなに新しいことを創造していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します！



政治・ビジネス委員会

副会長 安達 信彦

株式会社平設計 設計課長

第49期副会長を拝命致しました安達 信彦と申します。第48期の専務理事に引き続き大役を仰せつかり、大変光栄に思っております。中村会長の掲げられたスローガン「敬愛」を念頭に、小坂 委員長をリーダーとする政治ビジネス委員会メンバーと切磋琢磨しながら、自己の成長に繋がるように勉強させていただきます。そして、今期は当会の50周年に向けての大切な1年となります。これまでの中央会生活の中で、1年1年役割が変わってまいりましたが、その時その時の視点から得た学びは大切な財産となりました。半世紀という長きに亘る活動を支えて頂いた多くの先輩方からの学びを、次代を担う若き会員の皆さまへお伝えする一助となればと思います。微力ではございますが、精一杯活動してまいりますので、何卒宜しくお願い致します。



中央会発信委員会

委員長 長谷川 恵一

HASEGAWAテクニカ株式会社

第49期中央会発信委員会の委員長を務めさせていただく長谷川 恵一です。

当委員会では「刷新」をテーマとし、既存の考えに囚われず、様々な方法で様々な情報を発信し続けていきます。そして、リニューアルされたホームページを会員のために、いままで以上に活用することを検討し実行します。前述の活動を通し、委員会メンバーや会員だけでなく、西部中小企業青年中央会がさらに成長することを目標として委員会一丸となり頑張ります！

最後に皆様にはご多忙の中、当会の情報発信のために取材・撮影等で多々ご協力をお願いすることがございますが、その際にはお力添えの程よろしくお願い申し上げます。



中央会発信委員会

副会長 谷村 祐也

美保テクノス株式会社 営業部 主任

第49期副会長を拝命いたしました谷村 祐也と申します。第48期に引き続き副会長という大役を仰せつかり大変光栄に思っております。長谷川委員長、清水 副委員長が率いる中央会発信委員会を担当させていただきます。

情報発信を行い、ブランディングを確立することは現代社会において必要不可欠です。50周年という節目を控え、如何に中央会の魅力を発信するのか。広報の側面とビジネスの側面から情報発信を学び、より効果的に中央会の魅力を発信し伝えることが出来るよう、しっかりと委員会をサポートさせていただきます。

中村 会長が掲げられた「敬愛」を体現すべく、諸先輩方や現役会員を敬い、また一人ひとりに愛を持って接して参りたいと思っております。微力ではございますが精一杯務めさせていただきます。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



敬愛委員会

委員長 徳中 太慈

大連 代表

49期敬愛委員会委員長を務めます徳中太慈です。『敬愛』という中村会長の掲げられたスローガンがテーマの委員会ということで大きなプレッシャーとやりがいを感じています。これが敬愛だという正解のないテーマ

に挑むこともあり、まだまだどう進めばいいの一手探り状態ですが、共に活動してくれる委員会メンバーと一丸となり、会を愛しそして家族や地域の方々に愛される、そんな活動をしていきたいと思っております。先輩方が歴史を作って下さった当会もいよいよ50周年を迎えます。更なる発展、継続させていけるよう会員拡大にもしっかりと力を入れていきたいと思っております。皆様に協力いただきながらなるとは思いますが一年間宜しくお願い致します。



敬愛委員会

副会長 永井 拓末

株式会社クラム 代表取締役

第49期副会長を拝命しました永井 拓末と申します。時代に挑み、次代を創る。我々中央会はいつの時代であっても「時代に合ったこと」をするのではなく、「次代のためにできること」をするべきであると考えます。50周年を目前に控え、伝統を重んじた活動に加え少し視野を広げた考え方も必要となっ

ていると感じています。

そこで今期担当させていただく敬愛委員会では、次代のため「敬愛」のスローガンのもと、会員相互に、そして中央会に対して会員が貢献意識をもち、心がつながる調和のとれた活動を行うための運営方法や会員拡大活動方法を調査研究します。

身に余る重責ではございますが、精一杯活動いたします。何卒宜しくお願い致します。

直前会長・専務理事・会計担当理事・参与ごあいさつ



直前会長

高井 賢一

株式会社AND ONE 代表取締役

第49期、直前会長を務めます高井 賢一です。関係機関の皆様、OB会員の先輩方におかれましては、日頃より当会の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。49期は、いよいよ迫ってきました50周年という大きな式典の準備を会員が一丸となり進めていく1年となります。中村 会長の下、スローガン「敬愛」を掲げ、地域の皆様に、感謝と敬愛の気持ちを持って活動していきたいと思っております。より一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

49期は、いよいよ迫ってきました50周年という大きな式典の準備を会員が一丸となり進めていく1年となります。中村 会長の下、スローガン「敬愛」を掲げ、地域の皆様に、感謝と敬愛の気持ちを持って活動していきたいと思っております。より一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。



専務理事

山内 正樹

有限会社サンユービルド 代表取締役

第49期専務理事を務めます山内 正樹と申します。中村 会長が掲げられたスローガン「敬愛」と活動テーマ「貢献意識のある学びと発信を」に沿って全会員が歩んでいけるよう活動してまいります。新型コロナウイルスがようやく終息し当会の活動も地域経済と同様に活発化してきました。そうした活気を今度は勢いに変えていける一年となるよう行動していきたいと思っております。来たる50周年に向け重要な一年となることと思

いますが、そのような年に専務理事という役を務めさせていただくことを意気に感じると共に、経験豊富な今期の四役の方々とも議論を交わしながら会を支えていく所存です。

皆様、引き続きのご指導とご協力のほどよろしくお願い致します。



会計担当理事

中西 悠介

株式会社LABO 工務部次長

第49期会計担当理事を務めます中西 悠介です。

今期は会計担当を務める事で、違った角度で中央会の中を見て行くのかなと思っております。その中で自分が知らなかった事や気付きもあると思いますので、1年間を通してしっかりと勉強していきたいと思っております。会の会計の流れを把握して、事務局・山内 専務理事としっかりと連動して活動して行きたいと思っております。

若輩者ですが、皆様のご指導ご鞭撻並びにご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



参与

奥森 秀夫

新和産業株式会社 常務取締役

第49期 参与を務めさせていただきます奥森 秀夫です。平素は関係各位、OBの皆様には当会の活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。早いもので入会してから12年と多くの事を学んだ西部青年中央会も今期で卒会となる私ですが、当会50周年を控えた第49期 中村 会長年度を参与という立場からしっかりと支えたと共に時には一歩引いたところから会員の皆様に敬い愛する気持ちで見守りたいと思っております。

最後の一年となりますが50周年という場面に会員として活動できることを有難く思い、これまでのご恩をお返しできるように励みますので引き続き宜しくお願いいたします。

令和5年度 通常総会 『動力』から『敬愛』へ



令和5年7月18日にANAクラウンプラザホテル米子にて第49回となる通常総会が行われた。議長には第48期 小谷 泰樹 副会長が立候補し、全会員の「異議なし!」の声のもと全ての議事が可決された。猛威を

振ったコロナウイルスも本年5月には5類感染症に引き下げとなり、経済活動と共にいよいよ中央会の活動も本格的に再始動となる。来る50周年事業へ向け、第48期から第49期へ無事に櫓が渡された。

まず第48期 安達 信彦 専務理事より定足数を満たしている旨の報告があり、続いて第1号議案【令和4年度事業報告及び収支決算承認の件】、第49期 山内 正樹 専務理事より第2号議案【令和5年度事業計画及び収支予算書(案)承認の件】について説明が行われた。両議案とも満場一致で可決され、通常総会は滞

りなく閉会した。

続いて特別功労賞の表彰があり、長年の会員歴と実績を讃えられ第48期 高塚 康治 監事が受賞した。続く会長バッジ授与で第48期 高井 賢一 会長から第49期 中村 友紀 会長へ渡され、第49期が始動した。



続く会員表彰では精勤賞の受賞者26名を代表して田中 久晶 会員が、皆勤賞の受賞者11名の代表、第48期 田本 真大 副委員長がそれぞれ登壇し、中央会の活動において更なる活躍を誓った。

最後に委員会表彰が行われた。優秀委員会



は第48期 景山 貴司 委員長が率いる広報委員会、長年の懸案であったホームページのリニューアルが高く評価された。最優秀委員会は動力委員会で、第48期 明徳 真一 委員長の新入会員を一気にまとめ上げ、各委員会との合同懇親会や4月大運動力会の開催などエネルギッシュな手腕が高く評価された。

第49期は通常の活動に50周年事業の準備が加わる。半世紀という長い歴史を振り返り「敬愛～貢献意識のある学びと発信を～」という中村 会長の旗振りのもと、いよいよ第49期の活動が始まった。

(記事:高田)

令和5年度 卒会式

通常総会に続いて卒会式が行われ、高塚 康治 会員 (H19 年入会)、今川 圭一 会員 (H17 年入会)、古都 剛志 会員 (H28 年入会)、具森 正教 会員 (H29 年入会)、明徳 真一 会員 (H30 年入会)、藤原 毅彦 会員 (H30 年入会) の6名が本日をもって卒会された。

第48期 高井 会長より卒会者へ卒会証書と記念品、花束が贈呈され、祝辞として「皆さん晴々とした顔をしておられて羨ましく感じる。楽しい思い出ばかりで寂しくなります。これからも我々を温かく見守っていただきたい」と述べられた。

続いて卒会者代表挨拶として明徳 会員より現役会員へ「中央会は私にとって第二の青春でした。非常に面白かったです。大切な仲間がたくさんできました。皆さんも後悔のないよう全力で動いてください。これからも見守っていきます」との言葉が贈られた。

最後に卒会者より当会に対し目録贈呈があり、卒会者を代表して古

都会員より高井 会長へ目録が贈呈された。長いコロナ禍が明け、マスクをとった卒会者の晴々とした笑顔が印象的な卒会式となった。

(記事:小谷)



令和5年度 懇親会



総会・卒会式に続いて、多数の来賓、OB会員を迎えて懇親会が開催された。

冒頭、中村 会長より今期のスローガン『敬愛』テーマ『貢献意識のある学びと発信を』について発表があり「第49期は50年の節目を迎える年度だと感じる。これまでの歴史に親しみと敬いの気持ちを持ち、多種多様な新たな時代の価値観を繋ぎ、時代に即した経済団体でありたい。共に学び、貢献意識を持って学んだ知識を発信し、感謝と敬愛の気持ちを持って事業を進めて参りたい」と会長としての決意を述べた。

来賓代表挨拶では赤沢 亮正 衆議院議員より「コロナが5類移行後、すぐに大山お地蔵さ

まフェスティバルを行い、力強くポストコロナの狼煙を上げていただいた。ポストコロナの反転攻勢の中心になっていただきたい」と挨拶があり、続いて湯原 俊二 衆議院議員より「中央会生活17年で教授いただいたのは、一つ目は寺子屋なり、二つ目野武士である。皆で切磋琢磨して成長し、地域の為に貢献していただきたい」と挨拶の言葉があった。そして福田 一哉 OB会長の乾杯の発声で50周年に向け荒波に打ち勝って帰港することを願いながら懇親会は始まった。

新役員・卒会者の紹介の後、中央会応援団及び新入会員によるエールアトラクションが行われ、第49期中村 会長年度の船出を後押しした。中央会応援団長の引継式も行われ、山根 社 会員が新



しく団長となった。

そして盛況の中、鳥取県西部総合事務所 中原 美由紀 所長の中締めの挨拶をもって懇親会は閉会。そして第49期西部青年中央会は50周年に向け出港した。

(記事:儀)

鳥取県中小企業青年中央会 通常総会・祝賀会

令和5年7月26日、ホテルモナーク鳥取において、鳥取県中小企業青年中央会令和5年度通常総会が開催され、94名の会員が参加した。冒頭、第48期 安岡 県会長より、第48期のテーマ「人～繋がり、繋げる～」に対する思いを語られた後、今後は第49期 菅埜 県会長年度をしっかりと盛り上げていきたいと挨拶された。



第49期 菅埜 県会長

続いて、議長に選出された第48期 西原 県副会長のもと、第1号議案～第3号議案の決議を行った。いずれの議案についても満場一致での「異議なし」のかけ声のもと議案は全て承認となった。最後に、第49期 菅埜 県会長より議案承認について謝辞が伝えられ通常総会は閉会となった。

続いて来賓の方々をお迎えして祝賀会を開催した。最初に県会長の鍵の引渡式が行われ、第48期 安岡 県会長から第49期 菅埜 県会長へ、鍵の贈呈が行われた。菅埜 県会長は「今年度のテーマを『道～我が道を極め、集え～』にさせて頂いております。人生も道と同じで様々な事があるが、その中に起こる奇跡や喜びも等しく存在すると思っております。来たる50期、その先を見据えながら49期もその存在に隠れることなく一生懸命活動してまいりますので1年間どうぞよろしくお願い致します。」と再度決意を述べられた。

団体中央会 谷口 会長より来賓祝辞を頂いたのち、盾の贈呈式が執り行われた。盾の贈呈式では団体中央会の谷口 会長より第48期 安岡 会長及び各地区副会長へ盾が贈られた。続いて、乾杯のご発声を鳥取県商工労働部 池田 部長より頂き、祝賀会がスタートした。アトラクションでは、新県出向役員が発表され、余興として東部の永野 碧衣 会員による日本舞踊が披露された。最後に各地区委員長紹介が行われ、それぞれの委員長



から所信表明がされた。

懇親が深まる中、株式会社商工組合中央金庫鳥取支店 廣瀬支店長より中締めのご発声を頂き、盛会のうちに閉会となった。
(記事:松原)



県出向理事・監事紹介

県出向理事



野口 健太郎

野口電工 代表

H21年9月入会
H23年度 広報委員会 副委員長
R04年度 総務委員会 委員長

県出向理事



高見 秀幸

株式会社さんれいフーズ 副参事

R01年5月入会
R03年度 広報委員会 副委員長
R04年度 政治行政委員会 委員長

県出向理事



高岩 雄一

有限会社いけまつ環境 代表取締役

R01年10月入会
R04年度
リベラルアーツ委員会 委員長

県出向監事



足立 駿

足立ふとん店米子店 店長

H24年1月入会
H25年度 40周年記念事業委員会 副委員長
H27年度 地域活性委員会 委員長
H28年度 県出向理事
H30年度 総務・45周年記念事業委員会 委員長
R02年度 副会長
R03年度 副会長
R04年度 監事



第41回 全日本トライアスロン皆生大会 その1

去る7月16日、第41回全日本トライアスロン皆生大会が開催された。最高気温37度の猛暑の中、まさに「鉄人」達が熱いドラマを繰り広げた。今年は天候に恵まれたため、昨年出来なかったスイムから開催し、トライアスロンとしては4年振りとなった。会員からは石田 会員、鈴木 会員がチームとして出場、他の鉄人と共に感動を届けてくれた。また、ボランティアも約3,000人と例年より少ない中、自らが出来る以上の力を発揮していただき、大会を無事終えることができた。 (記事：山根)



第41回 全日本トライアスロン皆生大会を終えて

50周年企画委員会 石田 倫章 ウィルビー株式会社



今回は現役会員でチームを編成する事ができず、西部青年中央会としてではなく外部チームでの大会参加となりました。今大会は、コース距離こそ以前とほぼ同じに戻りましたが、マーシャルやボランティアの人数が減少している事や、久々のロングディスタンスに選手が浮足立っている様子が合わさって、過去とはかなり違う雰囲気の大大会であったと感じました。

それに加えて、バイクコースでは一部で41度に達するなど気温も非常に高くなった本大会は、過去最大のリタイア数を記録したと聞いており、かく言う私も制限時間内に帰って来る事ができず、他のサイクルイベント含め生涯初のDNFを経験しました。

個人的な結果は残念でしたが、ほぼ従来通りの大会を開催でき、またそれに参加できた事は嬉しく思います。次回は再び中央会でチームを結成して参加します。よろしくお祈いします！

総務委員会 鈴木 聖也 株式会社 松本建設 工事部長

第41回全日本トライアスロン皆生大会にリレーで出場した、総務委員会の鈴木 聖也です。この度はチームTSCではなく、一般のチームとして出場しました。はじめてトライアスロンに出場し、すごく刺激を受けました。私はスイム担当でしたが、仕事、中央会行事などで、正直練習が満足に出来ているか不安で、本番どうなるかと思っていました。やはり既に折り返し地点で限界を迎えていましたが、ボランティアの方の声援をいただいたことで、なんとか完走する事ができました。また、スイム、バイク、ランとリレーし、最後のゴールをチーム3人で出来た事は一生忘れません。

また、私は中央会生活が約15年あります。その中でもし再びトライアスロンに出る機会があれば、今回以上に体作りに励み、ソロで出場してみたいと思いました。

最後になりますが、トライアスロンが無事行われた事、無事にゴール出来た事、これは中央会会員の方や一般ボランティアの方があっての事だと思います。本当にありがとうございました。



第41回 全日本トライアスロン皆生大会 その2

実行委員長感想

実行委員長 景山 慎也 サンククリーン株式会社 常務取締役



この度、第41回大会の実行委員長をさせていただきました景山です。今回、3年ぶりのロング大会の開催となり37度を超す猛暑、またボランティア不足の中ではありますが無事に大会が閉会となり、先ずはホッとしております。期首の慌ただしい中にも関わらず、各部が大会成功に向けて日々綿密な計画と準備をしてこられた賜物だと思います。各部長、部員の皆さまに感謝申し上げます。

私は特に何をした訳でもありません。経験豊富なベテラン会員の旗振りでボランティア未経験の会員も一丸となって取り組み、皆で49期のスタートに勢いを付けていただいたと感じております。

今後も継続開催されていくであろうこの全日本トライアスロン皆生大会において、当会も引き続き何らかの関わりを持っていく事になるかと思えます。継承するものは継承しつつ、変えるべきところは長年の経験値より考え行動していく大切な時期にあるかと思えますが、先ずは皆さんのお陰で成功した事、改めて感謝致します。本当にお疲れさまでした!!



各部長感想

ボランティア部 部長

総務委員会 松田 順次
合同印刷株式会社 取締役社長室長



第41回皆生トライアスロン大会のボランティア部長を務めました松田です。コロナ禍での2年の中止と昨年の縮小開催により、なかなか思うように

ボランティア参加者が集まらない状況下でしたが、ボランティア部や関係者の声掛けと当日のボランティア部員で手分けをして不足人員を補うことで何とか大きな問題もなく当日を終えることができました。ありがとうございます。また、当初はAS部への配置だった方を急遽ボランティア部にさせてもらうなどAS部の方には迷惑をかける形となり申し訳ありませんでした。今年の反省点をしっかりとまとめて来年以降に引き継いでいきたいと思います。ありがとうございます。

マラソン部 部長

総務委員会副会長 住 真介
住法律事務所 代表弁護士



第41回皆生トライアスロンマラソン部長を務めました住です。昨年コロナ禍の中で開催された40回大会では、マラソンコースも縮小で行われ

ました。しかし、今年は距離も40kmとほぼ例年の距離に戻り、かつ、前回大会とコロナ禍前のコース、そして境港の新コースの混合コースとなり、新たな準備が必要となりました。そのような中で、マラソン部は今年は15名で、高塚 名誉部長、奥森 参与、木嶋 直前部長、そして4人の副部長を中心とする4つの担当班の体制で臨み、部員が一丸となって取り組みました。部員の皆さんには感謝の念に堪えません。そして、ボランティア部、AS部の皆さんにも大変お世話になりました。改めて皆様に感謝申し上げます。

AS部 副部長

中央会発信委員会 長谷川 恵一
HASEGAWA テクニカ株式会社



訳あってAS部部長代理を務めた長谷川です。会員の皆様、関係者の皆様、トライアスロン当日は大変お疲れ様でした。部長より資料を引き継いだ際、AS立ち上げ人数5人、夕方以降の人員5人の配属表には驚きましたが、そこは西部青年中央会、各所より応援を頂戴し最後まで運営することができました。

部長代理として特に何もしていない1日でしたが、それだけ皆が主体的に動いていたのだと思います。

感謝感謝の1日でした。本当にありがとうございました。このAS部なら来年は誰が部長を務めても大丈夫なはず!

第41回 全日本トライアスロン皆生大会 その3

新入会員が見たトライアスロン

Kaike Triathlon
Volunteer

総務委員会 松原 知大
日本海冷凍魚株式会社 シニアスタッフ



トライアスロン皆生大会には、前職にて当日のASボランティアには参加した経験があり、その当時から天下でのボランティアに大変な印象がありました。今年ボランティア部として大会運営に携わらせていただき、改めてトライアスロン皆生大会の開催は様々な方の協力の上に成り立っているのだと実感しました。

大会開催までの準備期間では各種メディアでの広報活動やボランティアの方々の説明会に参加させて頂きました。正直、言われたことをただこなしているだけで、自分が今何をしているのかわからないまま大会当日を迎えたように思います。

当日は、学生輸送、弓ヶ浜 AS での活動を担当しました。いつの間にか大会当日を迎えてしまいましたが、猛暑のなか奮闘される選手の方々の姿を見ていると、自然と声援や拍手が出てきました。これがトライアスロンの魅力の1つなのだろうと思います。来年からは更なる魅力を見つけ出すと同時に、その魅力を多くの方々へ感じて頂けるように活動できたらと思います。

早朝の設営から夜遅くの片付けまでの長丁場でしたが、今まで知らなかったトライアスロン皆生大会を経験することが出来ました。ありがとうございました。皆様本当にお疲れ様でした。

政治・ビジネス委員会 大利 大樹
株式会社 Lightning 代表取締役



政治・ビジネス委員会の大利です。初参加のトライアスロンボランティアでした。

トライアスロンボランティアのイメージは朝早い!夜遅い!何より暑い!! 実際に見たこともない私のイメージはとてもシンプルで浅はかな物でした。

当日、所属するボランティア部の集合時間はここでは伏せますがやはり朝は早いです。

はじめてみても初参加で右も左も分からず、先輩会員の皆様の指示を仰ぐだけ。本当に何も出来ず申し訳ない気持ちでした。数ヶ月前から準備に邁進されるボランティアの方々、靴擦れで血だらけの足でも諦めない選手、ありがとうと言ってくれた母と年代代くらの女性選手。最初のイメージも忘れて、正直心打たれました。

その姿を見て私も、ボランティアに限らずもう少し何かできるのではないかと感じました。

選手、ボランティア、関わった皆様、満身創痍のことと思います。本当にお疲れ様でした。

40歳目前、たまには仕事以外で体を動かしたいと感じた1日でした。来年は自ら動き、より貢献したいと思った貴重な1日でした。

〈新入会員〉

	わた なべ ゆう き	A型
	(有)ケイ・エス・エンタープライズ 取締役 建設業 〒683-0103 米子市富益町4564番地1 ☎ 25-6407 FAX 25-6408	
R05.07 (R05年度) 入会 (推薦者) 下村 (英) 大江 (史)		

〈コメント〉足場施工・管工事事業を行っている(有)ケイ・エス・エンタープライズの渡部 祐貴と申します。

中央会で地域活動や多方面で活躍されている方々と関わっていき自身のスキルアップにつなげ、会員の皆様、地域の皆様に貢献できるよう精進していきます。至らぬ点もあるかと思いますが宜しくお願い致します。

8月役員会報告

令和5年8月1日(火)米子市公会堂にて8月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 7月総会・卒会式・懇親会の件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 49期会員拡大の件
- 8月、9月例会開催の件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

ハンサム発刊についてのお知らせ

ハンサムの今後 50期に向けた組織編制に伴い、第49期のハンサムは以下のスケジュールで発刊させていただきます。
 10月発刊「秋号(8月、9月)」、12月発刊「冬号(10月、11月)」、1月発刊「新年特別号(12月)」
 3月発刊「春号(1月、2月)」、4月発刊「初夏号(3月、4月)」、7月発刊「夏号(5月、6月)」
 皆様により楽しんでいただけるよう内容充実に努めて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

2023年7月、ついに中村 会長を筆頭とする第49期がスタート致しました。会長が掲げられたスローガン「敬愛」について委員会メンバー全員で探究し、総務委員会からも浸透を図って参りたいと意気込んでおります。1年間、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

(第49期 総務委員会 委員長 大江 史紀)